



あっとわんは子育て支援の団体です。親と子のエンパワメントを応援しています。 2016年11月25日発行 46,370部

今年もこの季節になりました。

開講します。



第6回 発達障がい支援 スペシャリスト養成講座

発達障がいという言葉は知っていても、詳しいことがわからないまま、いろんな情報に振り回されているという声をお聞きすることが多くあります。
いろんな考え方や捉え方、支援の内容も日々変化している分野でもあります。

現在、病院で診断を受ける場合、ASD(自閉スペクトラム症)という診断名のみになっているのが一般的です。
以前は、軽度発達障がい・アスペルガー症候群・広汎性発達障害・高機能自閉症という単語を使用していた時期もありますが、今はほとんど使われることはなくなりました。
これは、診断を受けた時期によって変化してきているということです。
このような名称のことだけでなく、発達をとりまくさまざまなメカニズムが日々新たにわかってきています。

わたしたちは、特に小学生ぐらいまでのお子さんの発達のさまざまな捉え方や、「できるところ」と、「できにくいところ」などをさまざまな方向から支援者としてどう見立てていくのか?を学ぶ時間になるようプログラムを考えています。

この講座の特徴

- 発達障がいということ、どう捉え、どう考え、どう対応していくのがより最適なのか?を学びます
- 基本的なメカニズムを知り、支援の考え方と理論、支援者としてのマインドを学びます。
- この講座は支援者としての目線で内容を進めていきます。
- NPO法人あっとわんの療育事業でのマインインターンを希望される場合は、この講座を受講いただくことを条件にしています。

今回は、「基礎編」と「応用編」に分けて実施することにしました。
応用編では、基礎からさらに詳しいメカニズムを知り、子どもたちのアセスメントができるような内容にしています。
基礎編のみの受講も可能です。

応用編は、今まで発達障がい支援スペシャリスト養成講座を受講くださった方は応用編のみ受講することができます。

この講座を初めて受講される方は、応用編のみを受講することはできません。
※療育事業でのマインインターン参加希望の方は、基礎編のみでもOKですが、より実践に使えるようにするためには応用編の受講もお勧めします。

基礎編 平成29年	1月18日(水)	発達障がいの基本
	1月25日(水)	感覚統合とワーキングメモリ
	2月1日(水)	応用行動分析
	2月8日(水)	支援者としての資質とマインドづくり

応用編 平成29年	2月15日(水)	協調性と運動障がい
	2月22日(水)	ワーキングメモリと実行機能
	3月1日(水)	認知と心の理論
	3月8日(水)	まとめ

時間は全て12:00~14:00
会場:NPO法人あっとわん事務局内(春日井市中央台1-2-2サンマルシエ南館地下一階)
定員10名
受講料:基礎編20,000円 応用編20,000円(両方受講される場合は40,000円になります)
講師:下村真由美(保育士、発達障がい支援指導者)、河野弓子(社会福祉士、相談支援専門員、教育修士)

お申込みお問い合わせは
NPO法人あっとわん事務局 0568-92-5481
月~金10:00~17:00

ママのハタラクを応援する、働き方事業改革を春日井市より受託して実施しています。この事業を組み立てながら感じたことは「ハタラク」というのは生き方に密接に関係しているということ。当たり前のことだけれども、お金を得るだけではなく、子育てというのを通じて見える自分の働き方は、どうしたらいいんだろう?と迷いつつ生活している人が多いのではないかと感じています。
▼わたし自身、実は、ハタラクことをあまり深く考えずに生きてきたように感じています。「女子は腰掛程度の仕事で、会社の花」と言われた時代にOLを経験しているわたしは、何の疑問も持たずに寿退社の道を選び、子育てしながら「ハタラク」を意識せずに生活してました。▼時代は変わり、働くママも増え、育児休暇などの働く環境も整ってきたこともあり、多様な「ハタラク」選択ができるようになりました。働き続けることもできるようになりましたが、選択肢が増えただからこそ、迷ったり不安になることもあるように感じます。これからの人生の見通しが立てられるようになる、いいなあと思いつつ、この事業を進めています。この事業がいろんな人に届くことを願っています。